お取扱い「テーマ」のご案内

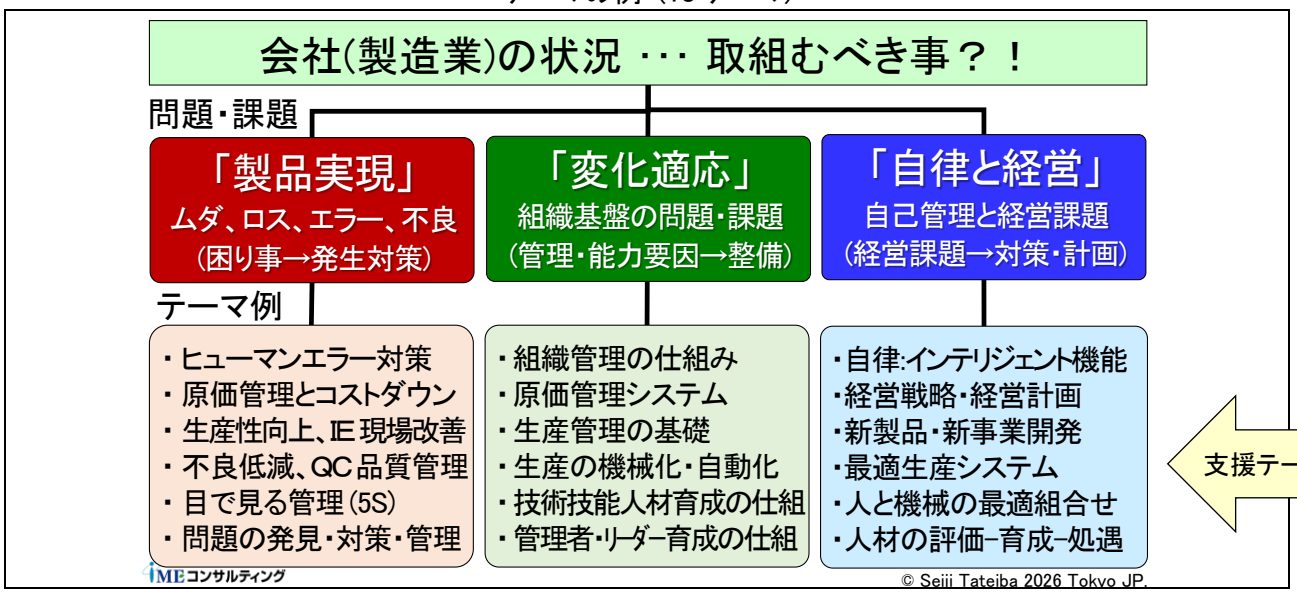
2026 年 10 月作成
株式会社 IME コンサルティング

IME の研修、コンサルティングなどでご提供いたしております「支援テーマ」をご紹介いたします。

1. 研修テーマの体系

弊社では、製造業の問題・課題に関するテーマをご用意いたしております。
これらのテーマについて、公開研修、社内研修、ゼミ、コンサルティングなどを実践しております。

テーマの例（18 テーマ）



2. お会社の状況と各テーマのポジショニング

お会社の状況により、必要な研修等の支援テーマも違ってきます。　事情にあわせてご検討下さい。

状況・対策ごとのテーマ分類（例）

経営の状況	対応範囲 / 方向性	「製品実現の問題」 生産活動とその結果	「変化適応の課題」 資源準備、活動の仕組み	「自律と経営」 自律と経営の意図・方向性
売上大 ・利益大	①攻めの一手			M1 経営戦略・経営計画 M2 新製品・新事業開発 M3 最適生産システム
	②体制見直し	A5 目で見る管理（5S）	C1 組織管理の仕組み	D1 自律:インテリジェント機能
	③人材育成	A6 問題の発見・対策・管理	B3 技術技能人材育成の仕組 B4 管理者・ﾘｰﾀﾞｰ育成の仕組	M4 人と機械の最適組合せ M5 人材の評価-育成-処遇
	④利益向上 （効率向上）	A1 ヒューマンエラー対策 A2 原価管理とコストダウン	B1 生産管理の基礎 B2 生産の機械化・自動化 C2 原価管理システム	
売上小 ・赤字	⑤止血処置	A3 生産性向上、IE 改善 A4 不良低減、QC 品管		

①攻めの一手	経営に余裕があり、将来の備えや攻勢を考えたい場合いのテーマ選定
②体制見直し	赤字ではないが、経営環境の変化により体制が合わなくなっている場合
③人材育成	人材育成は時間がかかる為、長期計画に基づき体系的に進める
④利益(効率)向上	利益が薄い・低下傾向等の場合、工場では効率向上～原価低減活動が必要
⑤止血処置	売上低下や赤字傾向などがある場合、改善等による止血処置～【至急対応】

※ 上記テーマについて「公開研修」「社内研修」「コンサルティング支援」等を ご提供いたします
※ 必要なテーマが上記にない場合は、お問合せください、開発やアレンジ可能なものもあります。

© Seiji Tateiba 2026 Tokyo jp.

3. 各テーマの対象となる問題・課題(お困り事)　　※ テーマはオーダー開発可能な場合もあります

研修テーマの一覧表を作成しましたのでご参照ください。
各テーマ内容の自社における達成度を採点するか、ベンチマークを設定して自社との比較により強点・弱点を見出す方法などにより、適切な研修テーマを選択することが出来ると思われます。

	研修テーマ名	対象の問題・課題（お悩み事）	
製品実現の問題	Ⓐ実務と結果の問題	[生産活動と QCDS 等の結果]	
	A1 ヒューマンエラー対策	QCD 実現は問題ないか ヒューマンエラーの増加はないか?	
	A2 原価管理とコストダウン	利益,原価の管理・改善は適切か 赤字製品は無いか?	
	A3 生産性向上、IE 現場改善	生産の管理・改善活動は十分か 受注変化等による効率低下は?	
	A4 不良低減、QC 品質管理	品質管理は充分出来ているか、 不良増加、クレーム等は?	
	A5 目で見る管理 （5S）	生産活動は、分り易い状態か、 探す・迷う・間違える・・・は?	
	A6 問題の発見・対策・管理	問題発見の監視・測定は充分か 問題・課題対策は出来ている?	
変化適応の課題	Ⓑ生産資源の準備 （4M準備）	[生産の媒体・要素]	
	B1 生産管理の基礎	生産の指示・実行、4M は充分か 受注変化に適応できている?	
	B2 生産の機械化・自動化	老朽化、遊休設備などないか、 機械化の進捗、人との組合せ?	
	B3 技術技能人材育成の仕組	技術系人材の育成は充分か、 技術は個人の暗黙知では?	
	B4 管理者・ﾘｰﾀﾞｰ育成の仕組	管理は機能しているか、 管理人材の育成はできている?	
	Ⓒ生産体制の整備	[生産活動の仕組み]	
	C1 組織管理の仕組み	業務は計画通りに進んでいるか 職責やルールの理解・浸透は?	
	C2 原価管理システム	原価ロスの発見・対処は充分か 管理活動は変化適応しているか?	
自律と経営	Ⓓインテリジェント機能	[自律・・・情報～管理～改善・革新]	
	D1 自律：インテリジェント機能	情報収集・分析・対策出来ているか、学習・ナレッジマネジメントは?	
	Ⓜ経営の意図・方向性	[経営の戦略・計画・課題対応]	
	M1 経営戦略・経営計画	戦略・計画の有無・適切性等は 経営管理は機能しているか?	
	M2 新製品・新事業開発	衰退期の製品が多くないか 製品ライフサイクルと開発実態は?	
	M3 最適生産システム	QCD は目標達成できているか 生産方式は受注に対し適切か?	
	M4 人と機械の最適組合せ	機械のサイレントキラー化の懸念は 人と機械の向き不向きの考慮は?	
	M5 人材の評価−育成−処遇	機械化するほど有能人材は必要! 育成～処遇の仕組は適切性か?	

※「会社状況～テーマ選定の検討」を お考えでしたら「自社診断研修」の ご利用をお勧めします

IME [ai e mú i:]
株式会社 IMEコンサルティング
東京都大田区蒲田
http://www.ime-net.com
[お問合せ]
「Facebook」：「 X 」

© Seiji Tateiba 2026 Tokyo jp.